

ユーザー訪問 株式会社伊藤薬局 (愛知県知多市)

紙感覚で使える電子薬歴 GooCo(グーコ) iPadで“いつでも・どこでも”を実現

愛知県内で5店舗を展開する伊藤薬局では、電子薬歴 GooCoを導入し、薬剤師の業務を支援している。質の高い服薬指導を目指すため、同薬局では研修受講による資格取得を奨励するとともに、使い勝手がよくサポート体制も充実している GooCoを活用することで、多忙な薬剤師の負担を減らし、患者と向き合う時間を十分に確保している。

薬剤師のスキルアップを奨励

(株)伊藤薬局(本社・愛知県知多市)が運営する「いとう薬局」は、5店舗中3店舗が健康サポート薬局に認定され、地域密着型の調剤薬局として住民の信頼を集めている。同社の代表取締役社長で薬剤師の伊藤裕至氏は、薬剤師のスキルの充実に熱心で、全店に認定実務実習指導薬剤師が勤務しているほか、妊娠・授乳サポート薬剤師、スポーツファーマシスト、禁煙サポート薬剤師、骨粗鬆症マネジャー、介護認定審査委員などの資格を持つ薬剤師が活躍している。

いとう薬局つつじが丘店の管理薬剤師・長村美智子氏は「単に薬を渡すだけでなく、患者さんとお話ししながら、健康増進のお役に立ちたい」と話す。また、妊娠・授乳サポート薬剤師の資格を持つ同店の里見一寛氏は、「近隣に小児科クリニックがあるため、つつじが丘店にはお子さんを連れた妊婦の方も多く来局されます。妊婦や授乳婦の方への投薬は気を使いますが、資格を取得したことで、自信を持って服薬指導ができるようになりました」と語る。

さらに、伊藤薬局は、地域包括ケアシステムを担う一員として、在宅医療への取り組みも強化しているという。

薬剤師一人ひとりがiPadでGooCoを活用

伊藤薬局では2013年から全店舗で(株)グッドサイクルシステム(本社:東京都渋谷区)が開発・提供している電子薬歴 GooCoを導入している。

「それまでは紙薬歴でした。当初、切り替えることに不安があって GooCoと紙薬歴を併用していたのですが、2カ月後にはその不安も払拭され、薬剤師全員が『GooCoだけでいいよね』となりました」(長村氏)



いとう薬局つつじが丘店の薬剤師・里見一寛氏(左)と同店管理薬剤師・長村美智子氏

GooCoの大きな特長は、端末にiPadを用いることができる点である。調剤薬局における薬剤師は、調剤、監査、服薬指導と店内を移動することが多いため、紙と同じように持ち運びできるiPadを電子薬歴の端末とすることは理に適っているといえる。

「デスクトップ型の電子薬歴では、他の薬剤師が使っていたら待たなければなりません。GooCoの場合、薬剤師一人ひとりがiPadを持つので、見たい時、書きたい時にいつでも使うことができ、ストレスを感じることはありません」(里見氏)

持ち運べるため、GooCoは在宅医療との相性もよい。「在宅支援アプリ(オプション)」では、個人宅で使用することを想定した「GooCoアプリ在宅モード」と、多くの患者データを素早く扱う必要がある施設で便利な「クイック在宅アプリ」の両方を利用できる。伊藤薬局でも、今後、こうした使い方を検討するという。

また、GooCoは受付・待ち時間を利用した先確認に対応、服薬指導をしながら薬歴の下書きを完成させることができる。薬歴作成の時間を大幅に短縮できるので、患者と向き合う時間が増え、服薬指導の質の向上につながっている。さらに、GooCoではPC版も用意されており、監査は大画面のPCで、投薬はiPadで使い分けるユーザーもいる。

これに加えて、サポート体制が整っている点もGooCoの特長の1つ。「GooCoはアップデートの度に進化しています。それに伴って定期的に講習会が開かれており、便利な使い方を学べるのがうれしいですね」(長村氏)、また「GooCoはコールセンターの営業時間が長いのと、リモートメンテナンスもあるので、安心して使うことができます」(里見氏)と評価も高い。



GooCoが活用されている、いとう薬局つつじが丘店